

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!



和歌山県橋本市
が応援するふるさと名物

『パイル織物』
～日本で唯一の総合パイル
ファブリック産地～



◆橋本市の地勢・歴史

橋本市は、和歌山県の東北端、自然豊かな紀伊半島のほぼ中央に位置します。北は大阪府、東は奈良県に接し、広域幹線道路や鉄道の乗り入れもあり、「和歌山の東と北の玄関口」としての役割を持っています。また近年では京奈和自動車道等の整備により近畿・中部地方からのアクセスが向上しています。

高野山への参詣道である高野街道と大和街道が交差する交通の要衝として栄えた橋本市には地域資源が多くあり、その中でも「パイル織（編）物」は、日本一の生産高を誇り、高級毛布、インテリア・衣料・寝装用品、車両、産業資材など、あらゆる分野にわたり国内外で広く愛用されています。

また、国の伝統的工芸品である「紀州へら竿」も有名であり、全国シェアの大半を占めています。



伝統的工芸品 紀州へら竿



紀州へら竿釣り大会

パイル織(編)物の歴史

◆歴史

紀伊山地の霊場高野山のふもとに位置する橋本市高野口町は、江戸時代の木綿織物にはじまり、後に川上ネルの産地として発展しました。明治の初めには再織（さいおり）という特殊織物の製法が創案され、当時の外国商館よりカーテン等の注文を受け、米国に輸出されました。その後、大正時代に入り、シール織物が考案され、昭和のはじめには、ドイツより二重パイル織機を導入し、産地は潤い、戦前の最盛期をむかえました。

当初は木綿、絹、羊毛が多く使用されていましたが、昭和30年以降のアクリル合成繊維の開発により、様々な素材がパイル糸に使用されるようになり、独特の光沢と風合い、そして弾力性、保温性に富む格調高い特殊織物になりました。素材とともに、織（編）機の技術も向上し、両面パイル毛布等の寝装品関係、インテリア商品、衣料用品、車両、産業資材へと、パイル織りの用途は広がりました。

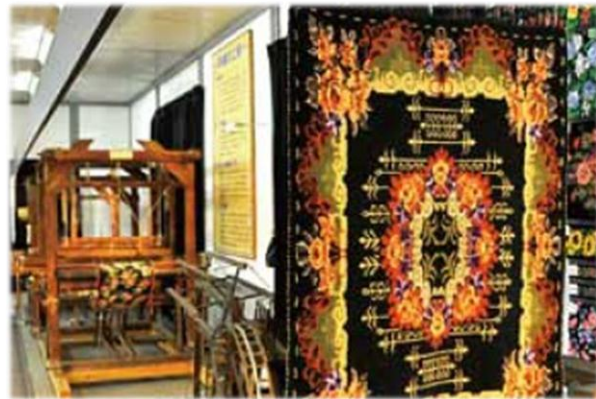
本市では中間財である製織・製編・染色等を主とするパイル企業が産地を形成していますが、企業ごとに得意素材や特徴が違い、今ではあらゆる消費者ニーズに対応できる日本で唯一のパイルファブリックの総合産地を形成しています。



江戸時代の川上木綿織物



昔のパイル織機



手織りの再織機(パイル織物資料館)

主な地域資源「パイル織物」①

◆パイル織物とは

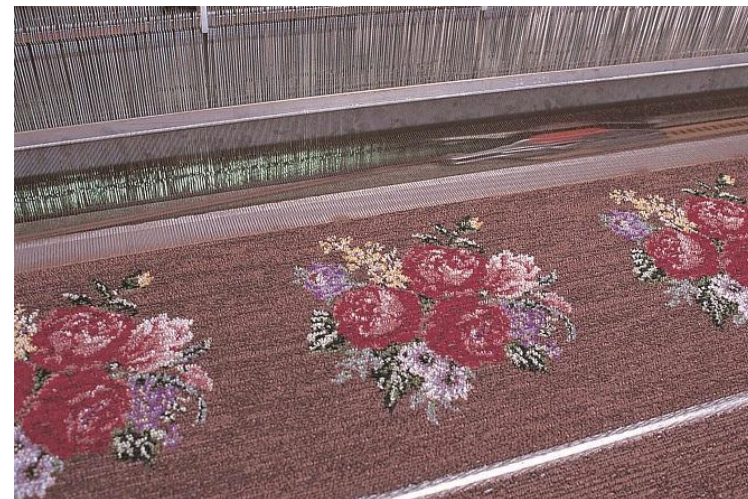
布生地の上にパイル(ループ)を出した織物です。そのループをカットしないものの代表的なものがタオルで、カットするものの代表的なものが、モケット・ベルベットや、コードュロイです。経糸をパイルにするものと緯糸をパイルにする2種類があり、経糸のものはパイルの長短を比較的自由に作ることができます。

◆高野口パイル生地とは

高野口産地のパイル全体の特徴

- ・毛抜けが少ない
- ・ピリング(毛玉)が起こりにくい
- ・温かかく、柔らかかく、独特の風合い・豪華さを兼ね備えています。

高野口パイルの特徴は基布に毛(パイル糸)を織り・編み込んだ3次元構造の立体的な有毛布地です。パイル生地がアザラシの毛皮に似ていることから、英語でアザラシを意味するシールを使い、シール織物、シールメリヤス(編み)とも呼ばれています。



製織中のパイル織物



シール織毛布

主な地域資源「パイル織物」②

◆パイル織物の素材について

アパレル、インテリア、車両、寝装、玩具、産業資材等、様々な分野の素材に使用されています。

〔代表的な活用例〕

- ・アパレル：欧米トップブランドの布地
- ・インテリア：国会議事堂、NHKホールの椅子等
- ・車両：新幹線のぞみ、観光バスの座席シート等
- ・玩具・雑貨：ぬいぐるみ、台所用品等
- ・産業用資材：フィルター、OA機器トナーシール材、液晶パネル研磨布等

鉄道車両・バス座席の表地やインテリア(絨毯やソファ)に使われるモケットは肌触りが滑らかで、耐久性が高く長持ちするのが特徴です。

また、衣類にも使われることが多いベルベットはパイル織物の一種で、2枚の生地の上にパイル糸を織り込み、その間をカットしたものです。織細で軽く光沢に優れています。



パイル織物素材が使用された座席シート(上)と椅子(下)

主な地域資源「パイル織物」③

◆伝統工芸の「再織」について

「再織」は一度織った経糸(たていと)に沿って糸状に裁断しモール状の糸に仕上げ、そのモール糸を緯糸(よこいと)に使い再度織り上げる生地で、世界的にも珍しい生地です。

パイル織物のルーツとなる再織(さいおり)は明治10年に前田安助氏によって創案された類のない特殊織物です。独特の肌触りと風合いが生まれ、触り心地が良く、吸水性にも優れています。ハンカチ・バッグ・ポーチ等のファッション小物やインテリア製品等に使われています。



ふるさと名物の内容

◆パイル織物製品群

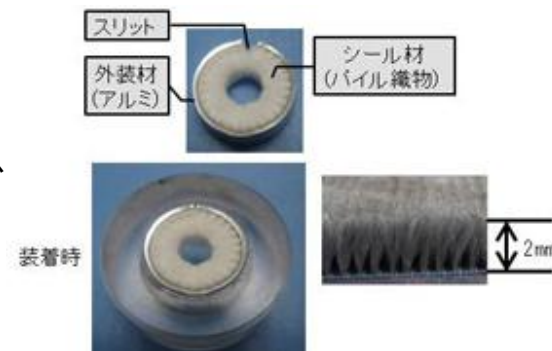
ラビングクロス

液晶テレビのガラス面をラビング(こする)処理し、液晶分子向きを整える高品質な研磨布。



プリンタートナーシール部材

世界最高レベルとなる高密度立毛編み機を使用したOA用プリンター印字トナーシール材。発熱解消や、異音発生低減。



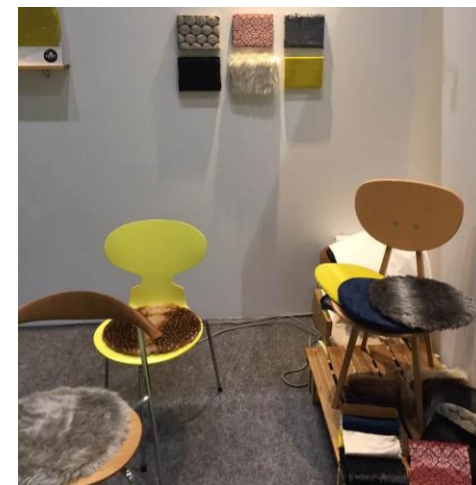
防災毛布

パイル織・編物の製造技術を活かした「災害対策用備蓄毛布」の研究・開発。橋本市ではパイル織物の産地の防災毛布を使用します。



自社ブランド製品開発

商品やコンセプトの企画デザインを他社とタッグを組み、パイル生地や素材の調達及び縫製の発注は自社で行う自社ブランドを立ち上げ、製品開発とブランド化に取り組んでいます。



パイル織物を応援しています！橋本市の取組

◆がんばれ！はしもと応援補助金制度

橋本市では新商品等開発費用及び展示会出展等に係る販路開拓費用の一部を補助します。

補助金制度を活用し、産地のブランド力向上をめざしたもののづくりや、販路拡大に向けた展示会出展等を支援しています。



パイル織物関連商品の出展風景

◆パイル織物販売拠点の整備

地域外へ販売するだけでなく、歴史あるパイル織物のまちでも身近にパイル製品を購入できるように、「橋本市地場産業振興センター(裁ち寄り処)」内にパイル製品の販売特設ブースを設置しました。

直接パイル織物に触れて購入してもらうことで、高感度・高品質・高機能のパイル織物のブランド化と情報発信に努めます。



地場産業振興センター(裁ち寄り処)

パイル織物を応援しています！市及び団体等の取組

◆産官学連携の取組み

パイル企業(繊維組合)とファッションデザイン専門学校が連携したパイルデザインコンテストや制作実習が実施されています。また、作品を東京のパイルファブリック展で展示し、新たな需要の開拓とデザイナーを目指す学生への普及活動を積極的に進めています。



産学連携作品展示(東京・パイルファブリック展)

◆イベント・市役所での展示PR

市内のイベントでパイルの手織り実演をしたり、パイル製品の展示PRを行っています。また、織物の体験や教室等メニューを情報発信することで、観光客にもPRしていきます。



駅前イベントでのパイル展示(葛城館)



パイル展示(市役所ロビー)

パイル織物を応援しています！市及び団体等の取組

◆パイル生地を使用した地元産品

パイル織物のまち橋本市をPRするために市マスコットキャラクター「はしぼう」の着ぐるみや市祝い品として地元の織物企業の生地を積極的に使用しています。

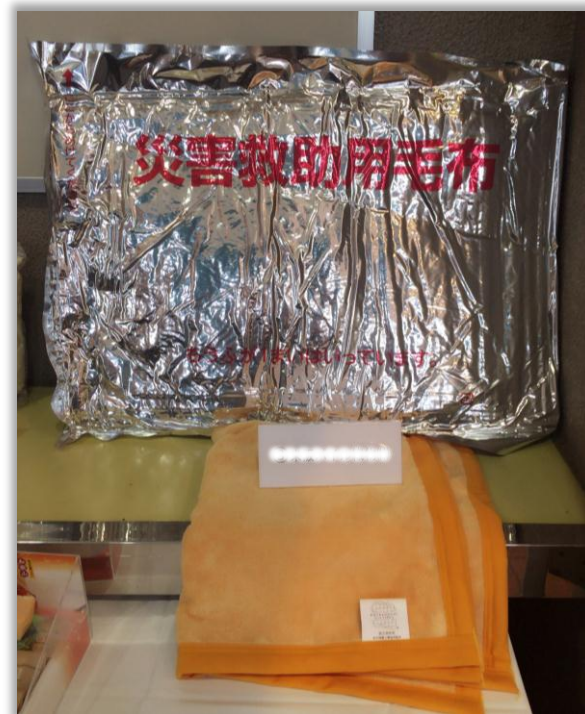
また地元パイル生地を使用した「災害救助毛布」開発を支援し、パイル産地として地元産の災害毛布の普及活動を行っていきます。



産地内パイル織企業の生地を用いた「はしぼう」の着ぐるみ



市出生祝い品パイル地のおくるみ



パイル生地を用いた災害救助用毛布

ふるさと名物 これからの取組み

◆ブランド化の推進

紀州繊維工業協同組合では、高野口産地の高級織・編物製品の品質の維持・向上を図るとともに、外国製品、他産地製品との差別化を行い、高野口産地製品への信用及び産地の認知度を向上させるために、「**KOYAGUCHI PILE FABRIC**」ブランドロゴを作成し、ブランド化推進が図られています。

高野口パイル
ファブリック
ブランドマーク



高野口パイル織物産地の特徴である「織」と「編」の両方で構成されていることをデザイン化しています。

◆展示会によるプロモーション活動

パイル織物の魅力を国内だけでなく海外にも発信していくために、毎年、ファッションビジネスの集積地である東京・原宿等で産地展示会「**パイルファブリック展**」を開催しています。

展示会では各社が、高品質・高機能を備えたパイル製品のプロモーションを行い、国内外の市場の開拓と産地ブランド化を図っています。



パイルファブリック展の開催(東京)